

# 蔵王町のあゆみ年表 その1 『おおむかし～蔵王町誕生』編

時代	年代 (2014年基準)	西暦	年号	マス	できごと	
旧石器時代	20000 年ほど前			1	人々は広い地域を巡回しながら石器で狩りをして暮らしていた(宮・持長寺遺跡)	
縄文時代	5500 年ほど前				縄文人がたぐさの土偶を作り、ムラのまつりで祈りをささげる(永野・谷地遺跡)	
	5000 年ほど前			2	縄文人、丘の上にムラを作り、楽しく暮らす(円田・鞠堂山遺跡)	
	4500 年ほど前				縄文人、土笛で音楽を奏でる(円田・湯坂山B遺跡)	
	2500 年ほど前				縄文人、睡がけた形の土偶を作る(宮・願行寺遺跡)	
弥生時代	2200 年ほど前			3	弥生人が円田盆地のまわりにムラを作って美しい壺を作る(永野・西浦遺跡)	
古墳時代	1600 年ほど前				古墳を作った人々のムラができる(東根・立目場遺跡)	
	1600 年ほど前			4	大きな古墳が作られる(塩沢・宋膳堂古墳)	
	1500 年ほど前				なぜか、この頃にほとんど人が住まなくなる	
飛鳥時代	1350 年ほど前			5	大和朝廷、円田盆地に前線基地を作る(小村崎・十郎田遺跡)	
奈良時代	1300 年ほど前			6	羽前街道の原型となる道、できる	
	1293 年前	721 年	養老 5	7	刈田郡できる(続日本紀)	
	1290 年ほど前			8	蔵王町ではじめて瓦屋根の建物ができる(都遺跡)	
	1250 年ほど前				なぜか、この頃にほとんど人が住まなくなる	
平安時代	1208 年前	806 年	大同 1	9	大和朝廷、刈田嶺神社に神封2戸を贈る(刈田嶺神社が歴史に登場)	
	1200 年ほど前				ムラを治める豪族の館ができる(小村崎・前戸内遺跡)	
	1100 年ほど前				なぜか、この頃にほとんど人が住まなくなる	
	952 年ほど前	1062 年	康平 5	10	源義家、小原清水峠から矢を射る。刺さった場所が『矢附』という地名になる(伝説・矢附)	
	950 年ほど前			11	鎌倉権五郎景政、鎌倉温泉発見(伝説・平沢・鎌倉温泉)	
	860 年ほど前			12	奥州藤原氏、又六阿弥陀如来坐像を建立。弥陀の杉随えられる(平沢・又六阿弥陀如来坐像・平沢弥陀の杉)	
	830 年ほど前			13	刈田嶺が蔵王山と呼ばれるようになる	
	825 年前	1189 年	文治 5	14	奥州文治の役。藤原国衡、討死。根無藤・四方峠で合戦起る。白九頭龍神社建立(曲竹・円田・山ノ入)	
	784 年前	1230 年	寛喜 2	15	蔵王噴火。柴田郡にまで火山弾が飛んだ	
鎌倉時代	650 年ほど前			16	蔵王の御釜できる(地質学的な推定)	
室町時代	495 年ほど前		永正年間		刈田嶺神社、現在地に遷座(宮・刈田嶺神社)	
	500 年ほど前				町内各地に戦に備えた砦が築かれる(小村崎・兵糧館跡など)	
	420 年ほど前			17	遠刈田で金の採掘が行われる(遠刈田・岩崎山金窟址)	
江戸時代	413 年前	1601 年	慶長 6	18	遠刈田温泉発見(伝説・遠刈田)	
	412 年前	1602 年	慶長 7		高野家、平沢の領主に任命される(平沢)	
	412 年前	1602 年	慶長 7	19	永野宿・猿鼻宿(花町)作られる(円田・永野駅内、山ノ入・花町)	
	390 年ほど前				曲竹一里塚作られる(曲竹・曲竹一里塚・江戸時代初期)	
	401 年前	1613 年	慶長 18		秋保頼重、サンファンパウティスタ号の造船奉行に任命(秋保頼重は北境領主)	
	398 年前	1616 年	元和 2	20	秋保頼重、大坂夏の陣凱旋を感謝して白山神社の社殿造営・杉植樹を行う(円田・白山神社)	
	390 年前	1624 年	寛永 1	21	村田城主・伊達宗高公、数年に及び蔵王山の噴火を鎮めるため、登頂礼拝	
	390 年前	1624 年	寛永 1	22	平沢湯口の温泉、蔵王噴火の影響で冷泉に変化(平沢・水神社)	
	370 年前	1644 年	寛永 21	23	仙台真田氏初代当主・片倉守信(真田大八)、矢附・曲竹に領地を賜る(矢附・曲竹)	
	326 年前	1688 年	元禄 1		松川氾濫。永野宿の南側が流される。牛頭天王社(のちの八雲神社)、宿場町の北側に移設(円田・永野宿)	
	320 年前	1694 年	元禄 7		蔵王噴火。山頂の蔵王大権現社焼失	
	320 年前	1694 年	元禄 7	24	力士・初代谷風梶之助、宮村に生まれる(宮)	
	313 年前	1701 年	元禄 14		三尊堂舎造立(平沢・清立寺)	
	301 年前	1713 年	正徳 3		日吉神社、現本殿建立(山ノ入・日吉神社)	
	296 年前	1718 年	享保 3		宮刈田嶺神社、現本殿建立(宮・刈田嶺神社)	
	271 年前	1743 年	寛保 3		宮宿大火(宮)	
	270 年前	1744 年	延享 1		七日原牧場開設(遠刈田・七日原地区)	
	261 年前	1753 年	宝暦 3	25	我妻家住宅、主屋建築(曲竹・我妻家住宅)	
	259 年前	1755 年	宝暦 5		宝暦の飢饉	
	230 年前	1784 年	天明 4		天明の飢饉	
	220 年前	1794 年	寛政 6		蔵王噴火。以後数十年続く	
	147 年前	1867 年	慶応 3	26	五十嵐文水、だるま講を開設(平沢・だるま堂)	
	明治時代	146 年前	1868 年	明治 1	27	明治維新。仙台真田氏当主・真田喜平次、仙台藩参政兼元帥として戊辰戦争を戦う
		145 年前	1869 年	明治 2		遠刈田の蔵王大権現社、水分神社となる(遠刈田・蔵王刈田嶺神社)
		141 年前	1873 年	明治 6	28	宮、円田、平沢、遠刈田小学校開設
		140 年前	1874 年	明治 7		宮村に郵便局できる
		139 年前	1875 年	明治 8		遠刈田の水分神社、蔵王刈田嶺神社となる
		133 年前	1881 年	明治 14		永野小学校開設
		127 年前	1887 年	明治 20		宮村に駐在所できる
		126 年前	1888 年	明治 21		円田村、遠刈田に駐在所できる
125 年前		1889 年	明治 22	29	市町村制に基づき円田村、宮村設置	
125 年前		1889 年	明治 22		宮村消防組発足	
123 年前		1891 年	明治 24		円田村消防組発足	
119 年ほど前		1895 年	明治 28	30	蔵王噴火。以後数十年続く	
118 年前		1896 年	明治 29		遠刈田温泉大火	
109 年前		1905 年	明治 38		宮宿大火	
109 年前		1905 年	明治 38		明治の大凶作	
109 年前		1905 年	明治 39		敬明講図、奉納される(遠刈田・蔵王刈田嶺神社)	
108 年前		1906 年	明治 40		永野宿大火	
106 年前		1908 年	明治 41	31	遠刈田製鉄所高炉、完成	
104 年前		1910 年	明治 43		円田村に郵便局できる	
104 年前	1910 年	明治 43		松川大洪水。宮、円田に大きな被害		
102 年前	1912 年	明治 45		松川大洪水。宮、永野、矢附で大きな被害		
105 年ほど前		明治末期	32	珪藻土の採掘はじまる(円田・平沢・明治末期)		
大正時代	101 年前	1913 年	大正 2	33	円田村ではじめて梨の共同出荷がはじまる	
	98 年前	1916 年	大正 5	34	電灯使用開始(遠刈田横柴発電所)	
	97 年前	1917 年	大正 6		宮村立木地細工職工徒弟養成所開設	
	94 年前	1920 年	大正 9		松川大洪水。宮、円田に大きな被害	
	92 年前	1922 年	大正 11	35	小野さつき訓導、殉職(宮・葬儀は三谷寺)	
	92 年前	1922 年	大正 11	36	軽便鉄道、大河原～遠刈田温泉間全線開通	
	91 年前	1923 年	大正 12	37	コンニャク栽培始まる(宮・関根義昌)	
	91 年前	1923 年	大正 12		はじめて動力式の消防ポンプが導入される(遠刈田消防組にガソリンポンプ導入)	
	90 年前	1924 年	大正 13		第1回蔵王マラソン開催(遠刈田～山頂～山形の山道)	
	90 年前	1924 年	大正 13	38	蔵王スキー場開設(現在の糞ノ河原付近)	
	89 年前	1925 年	大正 14	39	乗合自動車(バス)開業(大河原自動車株式会社)	
昭和時代	87 年前	1927 年	昭和 2		永野大火	
	86 年前	1928 年	昭和 3	40	蔵王病院の前身、県立円田診療院開設	
	85 年前	1929 年	昭和 4		円田村の小島万七、はじめてラジオ購入	
	83 年前	1931 年	昭和 6	41	澄川用水、通水開始(円田～平沢～小村崎～村田)	
	83 年前	1931 年	昭和 6		オートバイによる蔵王初踏破	
	82 年前	1932 年	昭和 7		遠刈田温泉大火	
	77 年前	1937 年	昭和 12		盧溝橋事件。日中戦争開戦。多数の人が兵隊として召集された	
	77 年前	1937 年	昭和 12		仙南温泉軌道廃止	
	74 年前	1940 年	昭和 15		遠刈田発電所、開所	
	73 年前	1941 年	昭和 16	42	太平洋戦争、開戦	
	72 年前	1942 年	昭和 17		曲竹発電所、開所	
	71 年前	1943 年	昭和 18		遠刈田温泉株式会社設立	
	70 年前	1944 年	昭和 19	43	遠刈田温泉に東京浅草区の学童疎開受け入れ	
	69 年前	1945 年	昭和 20	44	太平洋戦争、終戦。蔵王開拓がはじまる(翌年には北原尾・土浮山などに開拓者集落できる)	
	66 年前	1948 年	昭和 23		円田村・宮村農業協同組合設立	
	65 年前	1949 年	昭和 24		公立円田診療所開設(県立円田診療院を発展させた)	
	64 年前	1950 年	昭和 25		蔵王病院開院(公立円田診療所に入院施設を設けて円田病院に発展させた)	
	64 年前	1950 年	昭和 25	45	日本観光地百選 山岳部門1位に『蔵王』選定	
	64 年前	1950 年	昭和 25		蔵王之けし業協同組合発足	
64 年前	1950 年	昭和 25		農業委員会発足		
62 年前	1952 年	昭和 27		教育委員会発足		
59 年前	1955 年	昭和 30	46	蔵王町町制施行。円田村・宮村が合併して蔵王町が誕生		